

ASSETS第36巻27号でお分かりになったと思いますが、日本が「先進国最低の一人当たりの所得になったこと（わかりやすく言えば一人当たりの給料が先進国やお隣の韓国や台湾にも負けて最低になっている事）」の理由の一つに「この国の指導者が大企業の利益ばかりを優先して教育費にお金をかけてこなかったこと」を上げました。一部の富裕な人たちと異なり、多くの普通家庭では、学費の支払いにとっても苦勞をしています。円安やインフレでこの傾向はますますひどくなります。とりえずあなた達の今後に必要な学費（学費だけでなく、他の都市などで学ぶ時の「生活費」は含まれていません）を知っておいてください。私立高校と公立高校との差額はそれほどありませんが、私立大学と国立大学の差はかなり大きいのでチェックしておいてください。志成館が高校では結果を恐れず攻めるべきであり、大学入試が人生では負けられない闘いであるという指導は、学費の面でも言えるのです。館長が学生のころ私立大学は30万円でしたが国立大学は12000円でした。少なくとも国立大学は国が税金で運営すべき大学なので（※今はこの部分も「独立行政法人」として国はその教育の責任を放棄しています）お金が全くない人でも、学力と意志があれば、誰でも学べるようにしてほしいと思います。

「全て公立」33万円増

昨年度学習費計574万円

幼稚園から高校まで全て公立校に通った場合、授業料や学習塾代などを合わせた「学習費」の総額は574万円に上ることが21日、2021年度の文部科学省の試算で分かった。前回18年度より33万円増えた。全て私立に通う場合も8万円増の1838万円となり、公立の3・2倍だった。

塾や通信教育での伸びが目立ち、文科省は「新型コロナウイルス感染症拡大で学校の授業が制限された分を補うため、支出を増やした家

「全て私立」は1838万円

庭があった」と分析。塾代を捻出しづらい低所得層の子が不利にならないよう、教員による放課後指導などの支援に取り組むとした。試算は全国から抽出した保護者約2万7000人へのアンケートを基に、21年度の1年間に支出した学習費の学年ごとの平均額を15年分合計した。「幼稚園のみ私立」は620万円、「幼稚園と高校は私立」は781万円。公立小中高の学習費は前回より計51万円増えた一方、公立幼稚園は18万円減った。私立小中高は計75万円増だが、私立幼稚園は66万円減。幼稚園は19年10月から一部を除き原則無償化する制度が始まったため。学習費には塾代や給食費、文房具代、部活動の会費などが含まれる。塾代は、公立小の年平均が8万1000円（前回比2万8000円増）で、1994年度の調査開始以来の最高額だった。私立小では27万4000円（同2万1000円増）に上り、公立中25万円（同4万7000円増）、私立中17万5000円（同2万2000円増）だった。



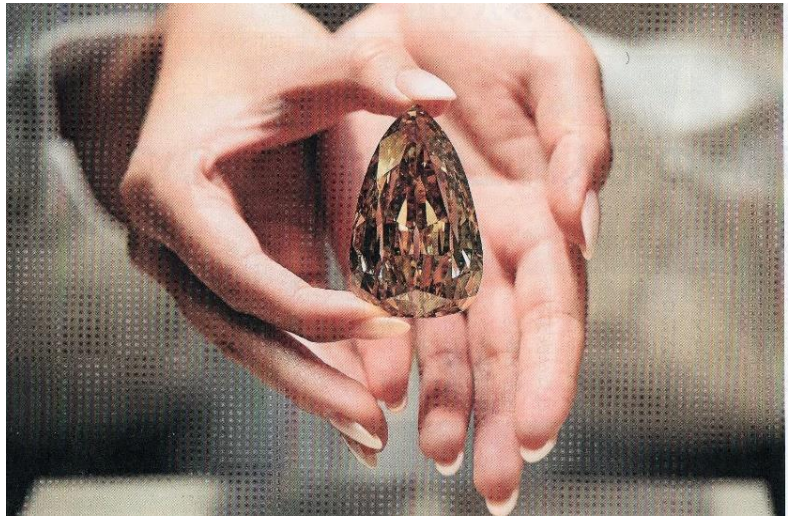
【上】新しい望遠鏡がつけられました。それで見た宇宙の写真です。



【上】アフリカのコンゴでは貧しい人たちが手掘りで「銅鉱」を集めて生活費を稼いでいるのです!!

| | |
|---------------|---------------|
| 私立大学 (4年制) | |
| 文科系 (法経文教育学部) | 400万前後 |
| 理科系 (工理農学部など) | 550万程度 |
| 国立大学 (4年制) | |
| 文化系 (法経文教育学部) | 250万前後 |
| 理科系 (工理農学部など) | (同上) |
| 私立大学医学部 (6年制) | 2000万円~4000万円 |
| 国立大学医学部 (6年制) | 350万円~400万円 |

※これ以外に東京などでの生活費は、最低でも120万円必要



【左】350キャラットのダイヤモンドで400億円くらいするそうです。



【右】北極海の氷が解けて住む場所がなくて、たくさん北極グマが海に落ちておぼれ死んでいます。

現代が学べる 志成館

